

..... 編集後記

◆ 昨年の中越地震被災地に豪雪、スマトラ沖地震と津波による死者・行方不明者が20万を突破といったつらい報道が相次いでいます。一方、三宅島の長い全島避難指示が解除され被災者の帰島が始まります。いずれの被災地にもまだまだ春は遠いようです。

◆ 本号はイタリアのフィレンツェで昨年秋に開催された「第32回万国地質学会議」の特集と前号に引き続いての「地質情報展2004 ちば」の特集という多彩な内容となりました。

◆ 「第32回万国地質学会議」の特集では、まず武藤氏が、地質調査総合センターが出展したブースでの展示概要や他国機関の展示などを紹介されました。また、宍倉氏他のみなさんは「活断層・古地震関係のセッション」について、古宇田氏他のみなさんは「温暖化ガスの削減対策・地下貯留関係のセッション」について紹介されました。地震も地球温暖化も地球規模での重大かつ緊急的な研究課題の多い分野、世界の研究の流れがわかる貴重な情報です。

◆ 竹内氏はイタリア・アルプスのアオスタ渓谷の巡検記を寄せてくださいました。造山運動の概念が育まれたアルプス、地質屋のあこがれの地ですね。マッターホルンが見られなかったのは残念、晴れていればすばらしい写真が本号の表紙を飾ってくれたのでしょうか。

◆ 後半の「地質情報展2004 ちば」の特集では、吾妻

氏他のみなさんが「千葉県地震・活断層・津波について」紹介、口絵に示された地震と津波のシミュレーションは、インドネシアを中心とする巨大地震・津波の後だけに目が釘付けにされてしまいます。また松本氏は「東海地震予知のための地下水観測」について紹介されましたが、何とか予知に成功してほしいものです。下司氏は「火山-噴火の驚異と恵み-」と題して、火山のない千葉のみなさんにわかりやすく説明されました。井川氏他のみなさんは「デジタル地質図」の、佐藤氏他のみなさんは「地球物理図」の紹介をされました。子供たちが楽しく地質図や地球物理図に触れることができそうです。

◆ 工藤氏他の「石割」、坂野氏の「地学クイズ」、中島氏他の「レプリカ作成」では、体験コーナーでの子供たちの生き生きした姿が紹介されています。

◆ 特集以外では、柏木氏が「モンゴルの大草原の花崗岩」について美しい写真(口絵)と共に珍しい話を聞かせてくれています。山元氏の「カルデラ火山の地質(宮下地域)」は図幅調査の豊富な情報を使った力作です。そして加藤氏の「みちのく石便り(4)」は民話の里遠野地方を中心とした奇岩探訪記でした。

◆ 最近、皆様からの投稿が若干増加傾向のようです。編集委員会もこれに元気づけられ、地質ニュースをより魅力的なものへと張り切っております。紙面のより一層の充実のため、皆様方のお一層のご支援をお願いします。(須藤定久)

地質ニュース編集委員会

委員長：須藤定久

副委員長：山本茂男

委員：高木哲一・丸山 正・高橋裕平・
光畑裕司・飯笹幸吉

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3603

Fax. 029-861-3602

地質ニュース	第606号	2005年	2月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
2005年2月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

© 2005 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ